



木曽林務課だより 9月

今年もキノコが採れたという嬉しいニュースが聞こえる季節になりました。これからの時期、山に入られる方に再確認していただきたいお知らせです。

キノコ狩り等で山に入る際は、クマにご注意ください!!

クマは、これからの時期に冬眠に向けて食いだめをするためにドングリ類などの食べ物を探して、森を含めて大きなエリアを動き廻ります。

近くにクマがいると思って行動を!!

木曽の山には多くのクマなどの動物が生息しています。**山中はクマの生息地と認識して、山に入る際は、鈴、ラジオ等で音を出しながら行動しましょう。**また、クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに注意しながら引き返しましょう。

キノコ採りでは、キノコ探しに夢中になり、クマ鈴などが鳴らずにクマに気付かず遭遇する可能性が高くなります。**キノコに夢中になりすぎず、周囲に十分気をつけましょう。**

子グマを見かけたら、そっと立ち去りましょう!! (親子クマに注意)

母クマが子グマを連れている場合、母グマは、子グマを守るために人に向かってくる場合があります。子グマを見かけたら、親がいると判断して**絶対に近づかないで、クマからできるだけ目を離さずそっと立ち去りましょう。**



0歳の子グマ(子犬くらいの大きさ)

判別できないキノコは採らない、食べない、人にあげない!

毎年キノコでの食中毒が発生しています。キノコ狩りの際は、しっかり判別できるキノコ以外は採らないようにしてください。



クマに出会わないことが一番の対策です。

特にバツタリ遭遇が最も危険です。まずはクマに人の存在を知らせながら慎重に行動しましょう。